

九州沖縄農研のうごき

「西日本食品産業創造展（マリンメッセ福岡）」に出展

西日本食品産業創造展（主催：日刊工業新聞社）は、西日本地区で開催される食品関連の最大級の展示会です。本年もマリンメッセ福岡（福岡市）で「食の未来を考える」をテーマに5月21日（水曜日）～23日（金曜日）に開催され、3日間で22,000名（主催者発表）の来場者がありました。

九州沖縄農業研究センターも出展し、研究成果の紹介とマッチングなどを行いました。本年は、周年放牧で育てた牛のペッパービーフ、水稲品種の「にこまる」「ぴかまる」「ミズホチカラ」「こなだもん」、ビタミンCの豊富ないちご品種「おいCベリー」、九州産黒大豆「クロダマル」、はとむぎ「あきしずく」の研究成果を活用して開発された製品などを試食あるいは試飲していただきました。試食で提供した製品に対する来場者の関心は高く、

6次産業化や農商工連携に関わっている方からの問合せも多くありました。

今回の出展が、研究成果の今後の活用と普及につながることを期待しています。



「新品種で拓く地域農業の未来～食農連携の実践モデル～」を刊行

九州沖縄農業研究センターでは、地域農業の活性化をめざして様々な作物で品種開発に取り組み、開発した新品種は広く利用されています。これまでの取り組みでは、九州沖縄農業研究センターの育種研究者、栽培研究者、食品機能性研究者、経営マーケティング研究者の密な連携が、実需者の理解にもつながり新品種の普及拡大に結びついたものも多くあります。

そこで、これらの新品種が開発された背景や普及プロセスをわかりやすくまとめた「新品種で拓く地域農業の未来～食農連携の実践モデル～」を刊行しました。本書では、当センターで開発した新品種を活用し、地域活性化や新商品開発による市場活性化に結びつけた事例を品種毎に紹介しています。6次産業化や農商工連携を効果的に進めるための手引き書としても参考になると考えますので、是非、ご活用下さい。

なお、「新品種で拓く地域農業の未来～食農連携の実践モデル～」は（株）農林統計出版から市販されています。



九州沖縄農業研究センター

ニュース No.48

平成26年7月18日発行

編集・発行

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構

九州沖縄農業研究センター広報普及室

〒861-1192 熊本県合志市須屋 2421

TEL.096-242-7780,7530 FAX.096-249-1002

公式ウェブサイト <http://www.naro.affrc.go.jp/karc/>